

第一部会（第 26 期・第 11 回）

議事録

1. 日時 令和 8 年 8 月 7 日（金）11:15～12:45
2. 会場 日本学術会議 5 階 5－A（1）（2）会議室及びオンライン会議システムを併用したハイブリッド開催
3. 出席者（敬称略）
【現地出席 39 名】
阿部彩、依田高典、伊藤泰信、岩井紀子、臼井恵美子、大垣昌夫、大塚直、大橋幸泰、川嶋四郎、河原純一郎、河野哲也、坂田省吾、澤田康幸、島岡まな、嶋田洋徳、島村健、城山英明、鈴木基史、高橋裕子、竹沢泰子、只野雅人、中村征樹、西山慶彦、野口晃弘、芳賀満、早川誠、原拓志、原田範行、日比谷潤子、広田照幸、三尾裕子、南野佳代、美馬のゆり、明和政子、矢野桂司、吉澤誠一郎、吉田文、吉水千鶴子、和氣純子
【オンライン出席 13 名】
有田伸、植木朝子、宇山智彦、小田中直樹、越智敏裕、上東貴志、定延利之、戸谷圭子、西岡加名恵、松本直子、馬奈木俊介、森口千晶、山田八千子
4. 議事

司会進行：吉田文部長

（1） 分野別委員会・部附置分科会活動報告及び第 27 期への申し送り事項

各分野別委員長又は委員より今期の委員会及び部附置の分科会の活動の報告と今後の活動予定第 27 期への申し送り事項の説明があった。

特に史学委員会からは 2029 年に日本学術会議が創立 80 年を迎えるに当たってその歴史を記録する 80 年史編纂・刊行に向けた準備状況についてまた学術会議に保存されている資料のアーカイブが国立公文書館に移管されることになっているがその状況と進め方について確認があった。なおこれらの件は現状で第一部以外で十分に共有されていないので午後の総会で第二部第三部に共有することが提案された。

（2） 審議事項

27 期への申し送り事項に関連して以下のような意見が出された。

・26 期は分科会の統合精査のために立ち上げに時間かかったが 27 期も同様かとの質問が出され事務局から資料 2 に基づく回答があり意見交換を行った。

・27 期は新規会員連携会員に対する説明があるのか確認され 9 月中旬に会員説明会が開催されることの説明があった。今回は新規連携会員はいない。

・分科会は分野横断的であることが求められているにも関わらず会員連携会員のメールアドレスの部を超えた共有がなされていないことが分科会の立ち上げを難しくしまた遅らせていることが指摘された。合わせて声がけが知人に限られるとの意見が出された。この点は四役会議幹事会に対して問題提起することとした。

・分科会の委員長が連携会員の場合に分科会に情報の流れに遅れが出ることが指摘された。また同じ人物が長期にわたって分科会委員長を続けている場合があることが指摘された。事務局からはそれに関する規程はないことが説明された。

・課題別委員会に現代的課題に関する第一部からの提案をする方法と道筋について確認があった。

・分科会の立ち上げを迅速にできるように連携会員の委嘱の時期を早めるよう要望があった。

・連携会員への意思確認後に分科会立ち上げの今後の流れに関する情報共有がなされるか質問があり事務局で確認することとした。

(3) 吉田文部長から閉会のあいさつがあった。

以上